

議会だより



Contents

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| ● がんばる美浜びとインタビュー 2 | ● 議案賛否・討論概要 9 |
| ● 議会本会議場の録画・放映システム 3 | ● 組合議会報告 9 |
| ● 6月補正予算 4~5 | ● 議会と語ろう会 10~11 |
| ● 常任委員会の動き 6~7 | ● 一般質問 12~15 |
| ● 6月定例会議案一覧 8 | ● 小学校運動会・編集後記 16 |

チュロスで美浜町を 元気にします!!

プロフィール

美浜町竹波
田中 瑞穂 (31 歳)



● 議会の課題

1. 女性活躍推進
2. キッチンカーに関する支援の充実

Q キッチンカーを始めた理由は何ですか？

A イベントなどで活躍するキッチンカーに憧れがあり、私もキッチンカーで自分のお店を開きたい！と思うようになりました！何のお店をしたいか考えた時に、地元の美味しいお米を使った米粉で、体に優しいグルテンフリーの米粉チュロスを作ろう！とすぐに方向性が決まりました！また、そこにタイミングよく美浜町のキッチンカー補助金などがあることを教えていただき、これは始めるしかない！と思い始めました。

Q どこで出店していますか？

A 平日は、美浜の道の駅、気比神宮前、敦賀駅などを中心に出店しています。土日は、福井県内の様々な場所に出店しています。また、ママたち4人で結成したママ+というグループに所属し、イベントを開催しています。

Q キッチンカーを始めて良かった点、大変な点がありますか？

A 良かった点はたくさんの方との出会いがあり、直接お客様と触れ合い繋がれることや、仲間も増え、楽しくやりがいを感じています！また、食べてくれた人から美味しいって言うってもらえることがなにより嬉しく、励みになります。大変な点は仕入れ・仕込み、準備・片付け、移動、事務作業など、裏方の仕事が多いところです。真夏、真冬、暴風の際の出店は大変です。

Q 美浜町はどんな町になってほしいですか？

A 海、山、湖と、綺麗な自然がたくさんある美浜なので、レジャーや観光などでたくさんの方に来てもらいたいです。また、安全・安心な暮らしができ、子供たちの笑い声が溢れる町になってほしいです。

《6月定例議会》

本会議場に録画・放映システムが導入されました！

本会議場と全員協議会室にリモコンカメラと大型ディスプレイ等を設置しました。
MMネット録画放映に加え、インターネット発信や実況放映（ライブ）を計画中です。



本会議場全景

◀傍聴席のディスプレイには音声を即時変換した字幕を表示



全員協議会室の様子



事務局用操作パネル

議会では、DX（デジタル技術を活用した改革）による「議会活動の活性化」そして「より開かれた議会の実現」を目指し、令和2年にプロジェクトチームを結成して、行政と協働で取り組み、令和3年2月議会から議案書や情報交換の電子化（タブレット導入・携帯電話のLINE化・ペーパーレス）の運用を開始しました。そして第2弾として、昨年度、経年劣化による議場音響システムの更新を機に、本会議場と全員協議会室にカメラや大型モニター・音声文字変換等の放映システムを導入して、今年6月議会より一部運用を開始しました。

災害に強いまちづくり

チェック

防災計画や津波ハザードマップの見直し

町防災計画の見直し

484万円

- 最新の津波想定を見直し
- 津波警報発令時の警戒体制を見直し
- 耳川の河川水位情報の更新
- 河川水位等監視システム情報の反映
- 防災計画に基づく計画、マニュアルの修正

津波ハザードマップの見直し 268万4千円

- 津波ハザードマップをより見やすく更新
- 等高線や避難場所等の情報追記
- マップ活用方法等の周知

災害廃棄物の仮置き場選定基礎調査

147万4千円

- 仮置き場となる候補地の現地調査
- ゴミの保管量の推計
- 搬入搬出動線の検討
- 運営体制の検討

減災対策事業計画策定事業

503万8千円

- 減災マップの作成〈マップイメージ〉



／町民の安全安心を守る／

6月補正予算

14億5976万3千円

《補正後の予算額91億4418万3千円》

生活感覚で見る予算チェック
(対前年度比104.4%)

はまなびフェスタ2024

850万円

開催日：10月26日27日
開催予定地：「にぎわいゾーン」
「なびあす」から道の駅「はまびより」の区間

鯖サミット2024 in 美浜

450万円

過去7回日本各地で開催されてきた食のイベント「鯖サミット」を美浜町で、はまなびフェスタと同時開催
◎各地域の鯖を味わう
◎各地域の特産品PR
◎トークセッション・交流会
※参加予定自治体：鳥取県鳥取市・千葉県銚子市・長崎県松浦市・青森県八戸市等

スポーツ育成

美浜西小グラウンド整備事業

3707万円

- グラウンドの排水処理機能の劣化に伴い暗渠排水設備と表面土の入れ替え

美浜中学校ローイング競技艇購入事業

485万円

- 配備から20年経過し経年劣化した競技艇を購入

美浜ジュニアローイングクラブ運営支援事業

120万円

- 中学校部活動の地域移行による運営支援

山口良治杯美浜町少年ラグビー大会

180万円

- 全国32チームが参加する少年ラグビー大会運営

未来を照らす 明るい美浜町へ

脱炭素のまちを目指し、照明設備のLED化等、省エネ対策を推進

明かりのまちづくり事業 4283万8千円

主要幹線道路設置のナトリウム防犯灯などをLED灯に更新

令和6年度
概要

- 県道松屋河原市線(灯数245灯) 工事費4039万円 工事管理費122万4千円
- 県道日向郷市線(灯数115灯) 実施設計費122万4千円 ※工事は令和7年度予定

【全体概要】(令和5年度から9年度)

事業費 2億2800万円(概算)
(内 訳) 工事費: 2億1200万円 実施設計費: 1000万円 工事管理費: 600万円
路線 9路線(県道6路線、町道3路線)
灯具 LED灯(電球色: オレンジ) 929灯

暗い夜道を
なくそう!

はあとぴあ(保健福祉センター)照明設備更新事業 2260万円

■ 照明設備の老朽化にともない施設全体をLED化で電気料金の削減、長寿命化を図る

なびあす(生涯学習センター)照明設備更新事業 5224万8千円

■ 図書館・コミュニティルーム・玄関等のLED化で電気料金の削減、長寿命化を図る

住宅の太陽光・蓄電池設備導入費補助金 302万5千円

補助対象経費	補助金額	上限
太陽光発電設備	(1) 蓄電池とセットの場合 7万円/kw (2) 太陽光発電単独の場合 5万円/kw	5kw (1) 35万円 (2) 25万円
蓄電池設備	蓄電池の価格の1/3の額	5kwh 25.5万円

〈補助要件〉

- ・ 申請受付…令和6年7月1日から9月30日
- ・ 令和7年1月31日まで設置完了の方、他

詳しくはエネルギー政策課 (0770-32-6716) まで

町民目線で見た6月補正予算が生活感覚でわかる予算チェック

未来を担う地域愛

みはまシナプスプロジェクト事業

8951万1千円

多様な交流を通じてコミュニケーションの場を創生する拠点

【1F】約180㎡	【2F】約80㎡
コミュニティスペース	客室3部屋(最大12名宿泊可能)
コワーキングスペース	シャワールーム
シェアキッチン	ランドリーコーナー
会議室	リネン庫



来春2025年4月供用開始 《外観イメージ図》

シナプス先輩大学事業 45万9千円

美浜町出身の方や美浜町にゆかりのある方を講師に招いて開催

《第1回講師》 高木直也氏(新庄出身)

世界のトップクリエイターが集うコンペティション「ペントアワード2023」で銀賞を受賞。食品や日用品のパッケージデザインを手掛ける。

《実施時期》 秋・冬・春の年3回を予定

『軽井沢』で観光誘客事業 200万円

明治維新に活躍した佐柿出身の実業家山本直成と子息直良が関わる「旧三笠ホテル」のある軽井沢町と連携しての観光誘客活動。

〈PR会場〉 軽井沢農産物直売所『軽井沢発地市場』等

常任委員会の動き

6月定例会では予算決算常任委員会に議案4件、総務文教常任委員会に議案4件、産業厚生常任委員会に5件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



予算決算常任委員会

議案第39号

令和6年度美浜町一般会計補正予算(第一号)

問 人事評価制度見直しに係る委託料について、どのような改善を行うのか。

回答 今年度から会計年度職員にも勤め手当が支給されるなど、新たに評価シートが必要となる職もあるの

で、一般職員も含め全体的に評価制度を見直す。

問 庁内のパソコンを更新するとあるが、基本的な構想は。

回答 業務システムの更新に合わせて、

パソコンの無線化・モバイル化を図り、職員の働き方改革と業務の効率化を進めていく。

問 シナプスプロジェクトの交流センター宿泊施設の規模は。

回答 施設2階に簡易宿泊機能を設け、3部屋で最大12人が宿泊可能である。

問 ナトリウム灯からLED灯に替えるとあるが、光害等について

検証済みなのか。

回答 遮光板を設置する予定である。

問 敬老会助成金について、敬老会を開催する場合、欠席者の扱いをどう判断するのか。

回答 申請時に対象者数を区から提出してもらった際には欠席者分も踏まえて計算することになるが結果的には実績値で支払いを行う。

問 レイクセンター運営費の算出方法を伺う。

回答 基本協定書の規定に基づき、DMOと協議し必要な経費を算定した。

問 鯖サミットとはまなびフェスタを同日開催とした理由は何か。

回答 美浜の産業を遠方

からの来場者に知ってもらったためである。



問 新規就農政策の助成に資格や年齢等の基準はあるのか。

回答 新規就農者または認定農業者を対象としている。

問 町道笹田・芋線道路改良事業とはなにか。

回答 久々子湖岸の防護柵設置工事である。

問 町道駅前線道路改良工事について伺う。

回答 道路の拡幅工事で、令和6～7年は用地買収、工事は令和8年度以降となる。

総務文教常任委員会

議案第36号

専決処分承認を求めることについて(美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について)

問 今回の定額減税措置費用として約7200万円計上されている

が、これはソフト等、システム改修費用も含まれると思うが、令和6年度が終われば費用をかけてシステムに元どおり改修するのか。

回答 1年限りの定額減税に対応するシステムであり、その後に改修は要しない。

議案第43号

美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問

特殊勤務手当とは異常な自然現象、大規模な事故による重大な災害が発生する恐れがある現場の巡回、監視、応急作業等と記載されているが、適用現場の判断基準があるのか、誰が判断するのか。

回答

重大な災害が発生する恐れのある場合において、災害発生予想箇所への巡回や、応急処置を必要とする現場、著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務が生じているかなど具体的に業務判断をしながら対応したい。最終的には町長権限となるが、事務決裁規程により対処する。



問

管理職手当の支給月額の限度額の引き上げで給料月額100分の25を超えない範囲となっている理由は。

回答

管理職手当について、これまでの国や県の基準より低い100分の15の設定となっていたが、この度の改正により、国、県の基準に合わせ100分の25を超えない額と改正するものである。条例においては、手当の上限を定め、詳細については規則で定めるものである。

産業厚生常任委員会

議案第44号

美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

介護支援専門員1人当たりの取扱件数を見直しなどが主な改正内容である。

議案第45号

美浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予

防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

指定居宅介護支援事業者が介護予防支援の事業所指定を受ける場合の介護支援専門員等の配置を規定することなどが主な改正内容である。

議案第46号

美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

管理者が兼務できる事業所の範囲について、管理者がその責務を果たせる場合には、同一敷地内の事業所等ではなくても差し支えないこととするなどが主な改正内容である。

議案第47号

美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基

準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

主な改正内容は、議案第46号と同様に、管理者の兼務範囲の拡大などである。

議案第48号

美浜町産業団地事業特別会計減債基金条例を廃止する条例の制定について

減債基金とは、自治体が借りたお金の返済のために必要な資金を積み立てる基金のこと。今回、産業団地の整備に伴う福井県からの借り入れを全額返済したことにより減債基金を処分したというものである。



令和6年度 第2回 美浜町議会定例会 議案

令和6年第2回美浜町議会定例会期間：令和6年6月3日～6月21日

議案番号	件 名	委員会付託	議決結果
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて（美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について） 地方税法等の一部を改正する法律の施行による組織及び運営に関し必要な事項を定める。	総務文教	可決
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて（美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について） 地方税法等の一部を改正する政令の公布による組織及び運営に関し必要な事項を定める。		可決
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて（美浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について） 美浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行による組織及び運営に必要な事項を定める。		可決
議案第39号	令和6年度美浜町一般会計補正予算（第1号） 14億5976万3000円増額	予算決算	可決
議案第40号	令和6年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 111万5000円増額		可決
議案第41号	令和6年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第1号） 64万2000円増額		可決
議案第42号	令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入459万4000円 収益的支出429万4000円 資本的収入2950万円 資本的支出2980万円		可決
議案第43号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第44号	美浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第45号	美浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第46号	美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第47号	美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第48号	美浜町産業団地事業特別会計減債基金条例を廃止する条例の制定について	—	可決
発議第1号	ローイングのまち美浜推進特別委員会の設置について		可決

※略称 ＜予算決算＞…予算決算常任委員会 ＜総務文教＞…総務文教常任委員会 ＜産業厚生＞…産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対△欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。
※議長（川畑忠之）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	松下	嶋元	山口	藤本	竹仲
議案第39号	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○

討論概要

〔6月定例会〕
議案第39号

令和6年度美浜町一般会計補正予算(第1号)

●反対討論

レイクセンターは、指定管理料なしで運営するというのが約束されたものでした。今回、指定管理者の申し出により、12月末日をもって指定管理の取消しが決まっているということで、次の事業者に引継ぎが決まるまでの間、必要な運営費として2332万円が必要となるということです。予算決算常任委員会の理事者側の答弁では、2332万円の根拠が明確になりませんでした。人件費や事務費などのおおまかな区分けすら明らかにならないものを認めることはできません。

レイクセンターの運営赤字は、指定管理者の運営責任だけではないと考えています。そもそもレイクセンターの再開計画は、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業の補助金が使える電池推進遊覧船の造船ありきで進んで来た「ハコモノ」であり、当初から浦見川を通る船の構造、観光誘客に必要な導線の問題、誘客リサーチの面で想定が甘いことなどが指摘されていました。利益の出ない赤字を垂れ流す施設を民間事業者が運営できるわけがありません。

行政は、指定管理者が撤退に至った経緯を含めて、利益を上げることが難しい無駄なハコモノをつくったことを反省すべきです。納税者である町民は、納めている税金が無駄なものに使われることを許してはくれません。私は、無駄に税金を浪費するレイクセンターはやめるべきだと考えるので、本議案を認めることはできません。

（河本議員）

敦賀美方消防組合 消防大会 開催

去る5月26日(日)の午前9時から、消防職、団員参加のもと、消防関係殉職者慰霊祭、一斉放水、分列行進及び観閲式の諸行事が実施されました。これは、消防関係者の志気の高揚と住民の防火意識を高める敦賀美方消防組合消防大会として、毎年開催されています。

また、きらめきみなと館において、永年勤続表彰・功績者表彰式と、退団員感謝状授与式が行われ、最後は万歳三唱で、大会を締めくくりました。



議会と語ろう会

地域の課題を共有し、課題解決へ！

東地区では、最初に議会の使命・用語の確認について質問があり、回答しました。集落の課題から防犯カメラ、チョイソコバスの運行、教育課題から、放課後児童クラブ

た川畑議長から、就任挨拶と今後の議会改革さらに「議会と語ろう会」の趣旨説明がありました。その後4月に発行された議会だより57号を使って、3月定例会の報告を行い、地区の皆さんと意見交換を行いました。



1班

1班は、

東地区と南

西郷地区を

対象に、議

会と語ろう

会を開催し

ました。最

初に3月定

例会で議長

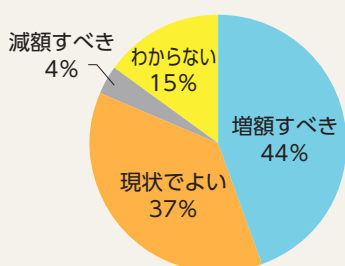
に就任され



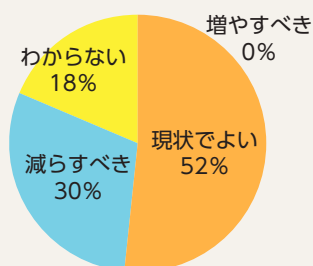
や保育士の働き方改革、その他「Cカー」の普及、防災グッズの質問があり、議員側から回答させて頂きました。最後にはアンケートにお答えして頂き、約1時間の話し合いとなりました。

午後からは、南西郷地区での議会と語ろう会を準備しましたが、残念ながら参加者がいなかったため、中止となりました。この原因を精査し今後の議会と語ろう会に活かして行きます。

④議員のなり手不足対策等のため、議員報酬（現在月額23万5千円）の見直しを検討していますが、あなたはどう思われますか。



⑤人口減少などの理由で、議員定数（現在14名）の見直しを検討していますが、あなたはどう思いますか。



筆記意見

- ①活動内容を分かりやすく、多岐にわたり、いろいろな方法で住民に発信してもらいたいです。
- ②役場の職場環境を改善していただき職員が働きやすいようにしていただきたいと思います。
- ③もう少し、このような場を設けて若い人の意見を聞いてほしいです。
- ④議会の熱意が伝わりました。がんばってください。

5月25日に「議会と語ろう会」が、地区別に3会場で開催されました。コロナが少し下火になった令和5年の1月に、なびあすに於いて「町村議会議員のなり手不足問題と今後の地方議員の在り方」と題して講演会を行い、その後全体で「議会と語ろう会」を開催して参加者と意見交換を行いました。

また、11月には、「今後の町村議会議員のあり方について」をテーマにして、講演と質疑を「議会と語ろう会」と位置づけ、選挙、議員定数そして、議員報酬等の議会改革にかかる現状を町民の方々にも知っていただきました。

今回は、2つの班の編成で、町内4カ所で「議会と語ろう会」を計画し、3カ所（1カ所は中止）で実施しました。その内容等を報告致します。

2班



2班は、北西郷地区と耳地区を対象に議会と語ろう会を開催しました。

はじめに、議会の仕組みと3月定例会・令和6年度当初予算概要の報告をおこなった後、町民のみならず意見交換しました。

北西郷地区では、レイクセンター、漁業ゴミの問題、福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備、空き家問題、久々子湖岸の水上バイク・レジャーボート問題、防犯対策などについて意見交換しました。

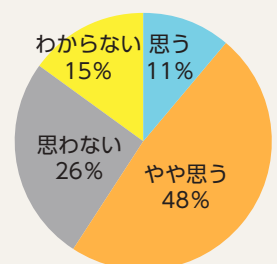
耳地区では、議会や議員の活動、行政の予算執行、町職員の退職問題、国・県の補助事業の活用、レイクセンターの導線、彌美神社のお祭り・文化継承、祭礼日の課題などについて意見交換しました。

「議会と語ろう会」を通じて、各地区から様々な課題をいただきました。議会

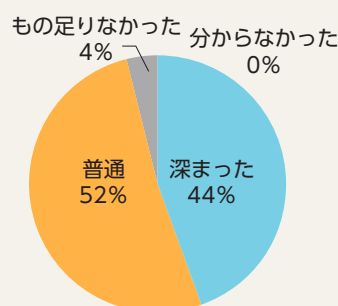
は、町民のみなさんからいただいた地域課題を共有し、課題解決へ取り組みを進めていきます。



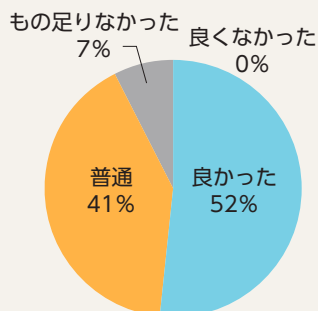
③あなたの意見や町民の声が、町議会に反映されていると思いますか。



②議会の役割やしぐみについてのご理解は深まりましたか。



①本日の「議会と語ろう会」に出席されての印象をお聞かせください。



議会と語ろう会 アンケートの回答結果

一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



こうもと たけし 議員

①「あいぱる」どうしてセンターではなく事業所扱いなのか！

答 基準となっている専門職の配置人数など、課題が多くある

問

「あいぱる」については、発達のがかりな子どもを対象にした発達支援と、介護を必要とする障害児、障害者に対して日常生活における支援、介護などを行う生活支援を受けることができ、放課後デイサービスや保育所等訪問支援も行っている。

これらのことを見ると、センター的な機能を有していると思うが、福井県のホームページから県の指定の児童発達支援センターや児童発達支援事業所の資料を見ると、「あいぱる」は、県指定の児童発

達支援センターではなく、指定の児童発達事業所になっている。

名称は、美浜町福祉支援センター「あいぱる」なのに、どうして県の資料ではセンターではなくて事業所扱いなのか、行政の見解を伺う。

こども政策統括幹

現在、福祉支援センター「あいぱる」については、町の条例により障害児者の心身の発達を支援する総合的な施設として位置づけており、児童発達と生活支援の事業所として、県の指定を受けている。児童発達支援センターとしての機能や役割は十分に備えていません。

センターの指定については、国で人員や設備等の基準が明確に定められており、「あいぱる」が指定を受けるためには、基準となっている専門職の配置人数、また小児科医等の嘱託医の確保が難しいという点、また町の人口規模、

また対象児童数から見て、安定した運営を行っていくためには、課題が多くあると考えている。

意見

二州地区のような範囲でセンター機能を持つ施設を広域的に利用できるような仕組みをつくってほしい。国や県に対して支援を求める声を強くしていただきたい。



②「レイクセンター」

指定管理者は、契約期間の満了まで運営を続けられる状況にあるのか！

答 指定管理者は、施設の管理運営を継続することが困難で、指定の取り消しを申し出た。

問

行政と指定管理者の契約期間は10年である。指定管理者の収支計画を見ると、令和5年度の赤字を10年契約の期間に回収できる状況にはないように思える。

指定管理者は、契約期間の満了まで運営を続けられる状況にあるのか伺う。

観光誘客課長

指定管理者は、6項目の要因により施設の管理運営を継続することが困難であるという点とで、指定管理料の見直しを求めており、この見直しがない場合は基本協定書第35条の規定に基づいて、本年3月31日をもって指定を取り消してほしいという内容でした。

町では、いずれも協定の変更の要因となるものではないと考え、苦渋の決断ではありますが、指定管理の取消しを受け入れざるを得ないものと判断した。

しかし、指定管理者の申出

による本年3月31日をもって指定を取り消すということでは、突発的に不測の機能不全が生じ、観光のイメージダウンにつながることもに遊覧船事業の運営にも支障をきたす。このためレイクセンターを休止することなく、次期指定管理者等に対する円滑な引き継ぎができるように必要事項を定めた覚書を交わすことで合意をした。

覚書では、現指定管理者には、基本協定書37条に基づき、本年4月1日から本年12月31日までを次期指定管理者等への引き継ぎ期間とし、町が所要の経費を支援することで誠意を持って業務を継続すること、また次期指定管理者等に対して円滑な業務の引き継ぎを行うこととしている。





議員 上道 しょうじ 正二

① 小規模農業への支援 対策について

答 個人的な支援は行っていない。今後は実情に即し、取り組んでいく。

問

大規模農業は補助金を受け、農機具類を買い換えているが、小規模農家には補助金などは下りず、買い替えることができない。小規模農家にも補助金などの支援対策を行わないと定住人口の確保にはつながらないのではないかと思うが。

産業政策課長

地域や3名以上の共同体に対して、農業機器の導入の補助を行っている。担い手の高齢化や労働力の減少といった課題は今後ますます大きくなることから、今後において第二次基本計画における検証を行い

ながら、県、JA、農業委員会、地域の担い手等、関係機関と協議し、美浜の農業の実情に即した第三次美浜町農業基本計画の策定に取り組んでいく。

意見

このグループ化が非常に困難である状態である。ぜひとも個人農業者にも支援をお願いしたい。

② チョイソコバスの運営で町民の要望が出ているが…。

答 住民を含めた公共交通会議で話しをするが、運転手不足も含めた課題が多くある。

問

美浜町は、チョイソコの停留所を増やしてきたいが、これ以上の追加の希望は町民から出ていないのか。

住民環境課長

集落内にある集落センター、お寺、ゲートボール場などへの設置の要望はあるが、停留所の設置については、公共施設、それに準じた施設としている

問

現在、町民はこのチョイソコで敦賀まで、特に病院等で乗っていきたくて思っているが、運輸局は敦賀までの運行はできると言っているのか、町としてはやらないのか。

住民環境課長

チョイソコみはまの敦賀までの運行については、町内や敦賀市内のタクシー、また路線バスなど、他の公共交通機関の運行にも影響を及ぼすおそれがあることから、美浜町地域公共交通会議及び敦賀市の地域公共交通会議に諮り、それぞれ承認を得る必要がある。両市町の地域公共交通会議で承認を得た後、国や県、両市町やタクシー、バス事業者等で構成する運賃協議会を美浜町が設置し、運賃に関する協議が整えば運輸局へ申請し、許可を受けることで運行が可能となる。また、敦賀までの

運行になると、現在運行している2台では対応できないため、車両を増やす必要がある。実現をするためには、こうした課題や経済性など解決していく必要があるが、町の公共交通会議や町民の声を集約する中で必要であると議論が醸成されれば検討していく。

問

学生は無料にしてはどうか。

住民環境課長

町の公共施設の使用料やチョイソコみはまの運賃など、公共サービスを利用する場合には、一定の負担をしていただくことが基本であると考えている。チョイソコみはまの運賃については、地域公共交通会議において協議し決定しており、今回のチョイソコみはまでは200円と安く設定をしている。また、小学生以下の子供が無料、身体障害者及びその介助者1名などが免除となっている。高校生の通学にかかる運賃に

意見

については、1か月3,520円の通学定期があり、また子育て対策として、教育委員会において高等学校等生徒通学費助成事業の制度により、定期券購入費の3分の1を助成するなど、高校生には手厚く支援をしていると考えている。

小学生全員がバスで通学する必要があると思う。帰りがばらばらな時間帯になったときに、チョイソコがあれば、学生は便利である。また、中学生については、今、自転車通学希望を登録していても、バスに乗せてほしいときもある。大型、中型車のやりくり、ルートの時間的都合で拒否されたと聞いている。

しかし、無料のチョイソコがあれば、いつでも中学生も予約ができ、通学できるようになる。中学生も高校生も利便性が高まると思う。

一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



うめ づ たか ひさ 議員
梅津 隆久

① 新美浜町水道ビジョン ン水道整備後の運営についての方向性 について問う。

答
令和7年度を目標に美浜町全域を上水供給とし基本料金も一律にすること考えている。

問

新美浜町水道ビジョンに基づき計画的に耐震管への布設替事業と東地区上水道管の延伸工事進捗中であるが漏水調査と迅速な漏水箇所修理で有水率86%としているが現状は何%で推移しているのか。

上下水道課長

安定した水源の確保と安全・安心な飲料水を常時提供できるよう努めている。令和7年度最終年度を91%と設定し、5年度末現在86.3%と目標値を割っているのが現状である。

問

良質な飲料水と水不足解消すべく平成27年に東地区・菅浜区の簡易水道を上水道とする計画経緯と今後の経営基盤である料金体系について伺う。

上下水道課長

菅浜等での簡易水道の水源は渓流水であり悪天候時には濁りの発生や夏季には取水量が不安定になる懸念と抜本的な減菌対策の必要性から県の指導や専門機関等との検討結果、簡易水道も飲料水供給施設を上水道事業会計へ統合し町内の水道施設が一つの下水道工リアとし公営企業会計管理となる予定である。また、佐田の東部・菅浜簡易水道施設はそのままし上水道と合流させ併用使用することとなる。料金は別途検討したい。



② こども全天候型遊び施設構想について問う。

答
基本計画に基づき町4エリアに区分し海・山・湖等の地域の強みを生かした施設整備の方向性である。

問

計画期間は2033年度までの10年間の事業としており、今年度は「はあとぴあ」「きいぱす」の既存施設を活用した整備の実施設計に入ると聞いている。本構想は、悪天候時に家族で遊びに行く場所が美浜町にはないという声を若い子育て中のお母様方から話を聞いている。地域内で自由に遊べる魅力的なスペースができることを期待するが、県の補助制度は2026年度までで最大1億円支援をされると言われているが実際の県の補助期限と整備構想は明確となっているのか伺う。

こども政策統括幹

全天候型こどものあそび場整備に要する県の補助金の期限は2026年度末までとなっている。基本計画では、美浜駅周辺の「にぎわいゾーン」に位置した「はあとぴあ」の利用および、遊びを通してエネルギー環境を学ぶエリアとして、「きいぱす」に、天候に左右されない遊び場を整備する方向である。「はあとぴあ」では、障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちが利用しやすい遊び場整備や、低年齢児の遊び場も構築するとともに、「なびあすや道の駅」等々の連携で、安心して子育てができる空間づくりを目指している。また、「きいぱす」については、エネルギー環境に特化した様々な体験学習の提供と併せ、デジタル技術を活用した遊び場の新たな価値を創出するため、体育館を改修し、遊びと学びの相乗効果を目指したいと考えている。具体的な整備内容や設計等につ

問

敦賀開業効果が県内全域に広がったと報道されている。特に敦賀市の赤レンガ倉庫は昨年同比の約40%増と言われているが我が町のレイクセンター・電池推進船利用実績をお聞きの。

観光誘客課長

今年のゴールデンウィークの10日間でレイクセンターの入込数は2090人で昨年の約5.4倍、遊覧船の乗船者数は682人で約1.4倍となっている。同期間中に開催したイベントや町内各所に設置した案内看板等によるPR効果と考えている。

③ 北陸新幹線敦賀開業によるゴールデンウィーク中の観光客入込状況についてお聞きする。

答
ゴールデンウィーク期間中に絞った入込目標は立てていない。

いては、子供たちや子育て世代、また専門事業者学識経験者等の意見を踏まえ検討を進めていきたいと考えている。

町長

これまで、返礼品の過
当競争問題もあったが

問 ふるさと納税は、今か
ら18年前に当時の福井
県知事である西川一誠さん
が、都市と地方の行政収支の
バランスの悪さを問題提起
し、その是正を訴えたのが始
まりである。この制度の経済
効果は4兆円もあり、今や納
税者や受納自治体にとってお
互い喜ばしい結果が出てい
る。この制度の趣旨と今後の
取組みを問う。

答 納税者や寄付を受ける
自治体に様々なメリッ
トがあり、今後も町の
活性化に繋げていき
たい。



辻井 雅之 議員

改善されている。地震などの
被災地支援のクラウドファン
ディングによる支援や貢献な
ど、価値観の多様性にも配慮
された良い制度である。納税
者や自治体にとっても、お互
い様々なメリットがあり、町
としても活性化に繋がるこの
制度は今後も拡大に向けて取
り組んで、全国の美浜ファン
を増やして行きたい。

問 個人の納税額について
は、納税者の給与収入
や家族構成によって決まる。
(年間の上限)パソコンのポー
タルサイトで、データーを入
力すれば、納税可能額の概算
を見る事ができます。それで
は、町の納税額(寄付)の金
額は、どの様な数字になっ
ているのか、また1件当たりの
過去最高金額はいくらだった
のか問う。

まちづくり 推進課長

令和3年度から4年度
にかけ多少減少したも
の、令和5年度にお
いては、寄付件数が約1万件
あり、過去最高額の約1億8
400万円あり、最高額は1
件70万円となっている。寄付
金は、返礼品や広告料、事務
手数料を差し引いた金額(約
4割)をふるさと応援基金と
して積立し、町の活性化事業
や重点施策に充当している。
今回はましナプスプロジェ
クト事業に8500万円を充
てる計画である。



② 返礼品となる特産品 と、それを生産する 園芸農家への助成に ついて。

答 寄付者への対応は、町
の担当者やポータルサ
イトが対応して、返礼
品はブラッシュアップ
(改良や新規商品も増
やして充実を図ってい
る。

問

町の発行する返礼品パ
ンフレットの最初の
ページは「へしこ」になる。
やはり美浜のへしこは、譲れ
ない特産品で、町のバック
アップはもっと必要である。
生産者や販売者も色々工夫を
重ね、小学校の生徒も応援し
てサワラのへしこも商品化し
ている。これらの返礼品に
携わっている業者は何件くら
いあり、納税者との問題は発
生していないか。また、返礼
品としてハウス野菜もいくつ
かある。近年、園芸農業のハ
ウス野菜栽培が盛んに成って

産業政策 課長

返礼品事業者は、農山
林水産物を中心に様々
な商品を取り揃えてお
り、令和6年で65件登録され
ている。寄付者への対応は、
町の担当者とポータルサイト
業者が丁寧に対応している。
町では施設園芸農家への支援
策として、新規就農者・認定
農業者・営農集団に対し園芸
ハウス・規模拡大に係わる機
器・施設の導入補助も行い、
園芸作物の販売額は平成27
年度で約2千万円であったが令
和4年には、3億2千万円を
超える成果が出ている。

いるが、生
産者に対す
る助成・支
援について
伺う。



みんなで盛り上がった体育大会

！練習の成果を家族のみんなに！

東小学校



中央小学校



西小学校



応援合戦はチームの
団結で盛り上げました。



6月1日（土）、町内3小学校の体育大会が青空の下で同時に開催されました。各小学校とも早くから練習を行い本番を迎えました。大会スローガンを掲げ、高学年のリーダーシップが、いたる所で見られました。特に応援合戦はチームワークの見せどころで、新一年生の存在感も新鮮でした。運動会は学校行事でも大きなイベントです。学校はもとより、地域・家族も一緒に楽しめる行事です。子どもたちにとっても思い出に残る運動会になったことでしょう。

編集後記



雨の日を楽しく過ごすために、先日、レインボーラインでカラフルな傘を買いました。おかげで、雨の日が楽しみになりました。

先月、『北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会総会』と『福井県美浜町・琵琶湖北西道路整備促進期成同盟会総会』がありました。

どちらも美浜町にとって大事であり、早期着工を目指し行政、議会、町民一丸となって頑張っていきましょう。

ご協力よろしく願いたします。

（幸文記）

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】辻井雅之

【副委員長】幸文佑馬

【委員】藤本 悟・松下 照幸

高橋 修・上道 正二

兼田 和雄